

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	51
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	公民館運営事業			科目	款	項	目	課名	教育委員会
					9	4	1	係名	生涯学習係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	ふれあいと交流ができる村づくり			移住定住の促進					
施策	生涯学習の推進			交流拠点等の充実					
事業の目的	公民館活動を推進することにより、健康づくりや交流の場を作り、地域の分館活動や各種団体の交流活動を支援する			事業の目標	公民館主催事業への参加者 前年+5% 公民館主催事業への参加地区 前年以上				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	夏まつりの開催(計画値は前年実績)			人	870	900	103%		
○	成人式の開催(計画値は前年実績)			人	40	35	88%		
○	村民祭の開催(延べ800人、17団体)			回	1	1	100%		
○	公民館報の発行			回	12	12	100%		
○	分館活動の支援・分館交付金の交付			式	1	1	100%		
○	文化振興団体活動支援のための補助金交付			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		5,727千円		5,378千円		
	概算正規職員人件費	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円		
	概算嘱託・臨時人件費	1.0人	1,500千円	1.0人	1,500千円		
	概算人件費計	1.4人	4,100千円	1.4人	4,100千円		
	合計		9,827千円		9,478千円		
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円		
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	5,727千円	100.0%	5,378千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	5,727千円	100.0%	5,378千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	公民館の大きな事業(夏まつり、成人式、村民祭)は、地域のコミュニティを醸成する意味で重要である。		
評価委員評価	公共性	B	継続の重要性と事業内容の検証をバランスをとりながら進めることが必要。住民の自主的活動を更に促す対策も必要。	
	公平性	A		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	生涯学習事業		科目	9	4	1	課名	教育委員会
							係名	生涯学習係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	ふれあいと交流ができる村づくり			移住定住の促進				
施策	生涯学習の推進			交流拠点等の充実				
事業の目的	生涯学習事業を推進することにより、仲間づくりや交流の場を作り、村民誰もが健康で心豊かな生涯を過ごすことを目的とする。			事業の目標		事業への参加者 前年+5% 事業への参加地区 前年以上		
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率
○	生涯学習講座の開催				回	9	9	100%
○	生涯学習講座参加人数(計画値は前年実績)				人	1048.0	448	42.7%
								#DIV/0!
								#DIV/0!
								#DIV/0!
								#DIV/0!
								#DIV/0!

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		649千円		520千円
	概算正規職員人件費	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.5人	750千円	0.5人	750千円
	概算人件費計	0.9人	3,350千円	0.9人	3,350千円
	合計		3,999千円		3,870千円
		正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	649千円	100.0%	520千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	649千円	100.0%	520千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	地域及び時の課題解決につながる講座を開設するとともに、仲間づくりを促進する意味で、常に対象や狙いを見定めて事業を実施していく。		
評価委員評価	公共性	B	事業内容や方法を精査しながら誰もが参加しやすい形で実施されることが望ましい。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	文化財保護事業			科目	9	4	1	課名	教育委員会
								生涯学習係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	文化が薫るいきいきとした村づくり			全項目					
施策	文化財の保存と活用の推進								
事業の目的	指定文化財の保護により貴重文化財を後世に引き継ぐ。			事業の目標	地域文化の継承によるふるさとへの愛着心向上				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	指定文化財保護事業			式	1	1	100%		
○	文化財啓発事業			式	1	1	100%		
○	埋蔵文化財調査事業「平塚遺跡発掘調査事業」			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		5,956千円		5,427千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	2.0人	3,000千円	2.0人	3,000千円		
	概算人件費計	2.2人	4,300千円	2.2人	4,300千円		
	合計		10,256千円		9,727千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	25.2%	1,500千円	27.6%	1,500千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	74.0%	4,405千円	71.8%	3,895千円		
	特財 書籍代	0.9%	51千円	0.6%	32千円		
	合計	100.0%	5,956千円	100.0%	5,427千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	平塚遺跡発掘調査は3カ年の最終年を迎えたが、時代層が長期にわたり、より深く掘り進める必要があることから、一年延長して更に解明を進める。		
評価委員評価	公共性	A	事業目標の明確化が必要。また、発掘や保護活動が中心となるのではなく、地域の文化財へ興味を抱くような取り組みも必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
総合	B			

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	54
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	青少年育成事業			科目	9	項目	4	1	課名	教育委員会	
									係名	生涯学習係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略							
基本目標	子育てと教育の村づくり			子宝支援の充実							
施策	総合的な子育て支援の推進			子育て支援体制の充実							
事業の目的	村の子供たちの活動や交流の場を作り、青少年の健全育成を図る。			事業の目標	参加者数の増						
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率				
○	地域体験活動(カヤの平キャンプ) 計画値は前年実績			人	16	40	250%				
○	少年少女ドッチビー大会 計画値は前年実績			人	34	50	147%				
○	生徒指導委員会			回	1	1	100%				
○	県下一斉街頭指導			回	1	1	100%				
★	長野県将来世代応援県民会議北信地域会議			回	1	1	100%				
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		210千円		209千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	合計		1,510千円		1,509千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	210千円	100.0%	209千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	210千円	100.0%	209千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	青少年育成活動では、平成28年度より大幅に参加者が増えた。また、中学生ボランティアの参加によりジュニアリーダー育成を行い、健全育成を図っている。		
評価委員評価	公共性	A	育成会活動の活発化による参加者増は評価できるが、手段が目的に置き換えられることのないよう留意する必要がある。	
	公平性	B		
	有効性	A		
	効率性	B		
総合	A			

### ① 基本事項

事業名	体育振興事業			科目	9	5	1	課名	教育委員会
								係名	生涯学習係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	ふれあいと交流ができる村づくり			移住定住の促進					
施策	生涯学習の推進			交流拠点等の充実					
事業の目的	体育活動を推進するため、活動環境の充実を図る。			事業の目標	スポーツ事業への参加 前年比 増 スポーツリーダーの育成				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	姉妹都市スポーツ交流			式	1	1	100%		
○	スポーツ強化補助金			式	1	1	100%		
○	スポーツリーダー研修への参加			回	1	0	0%		
○	村民スポーツフェスティバル(計画値は前年実績)			人	737	699	95%		
○	高校野球木島平トーナメント戦(5校)			回	1	1	100%		
○	村民運動会(雨天により途中中止)			回	1	0	0%		
○	市町村対抗駅伝競走大会(小学生、一般共に村の部3位)			回	1	1	100%		
○	少年野球木島平大会(4チーム)			回	1	1	100%		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

### ② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		1,532千円		1,308千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	合計		3,482千円		3,258千円
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	1,532千円	98.1%	1,283千円
	特財 参加料	0.0%	千円	1.9%	25千円
	合計	100.0%	1,532千円	100.0%	1,308千円

### ③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	各種スポーツイベントの実施により村民のスポーツへの関心及び競技力の向上が図れた。		
評価委員評価	公共性	A	生涯スポーツの推進のためのきっかけづくりとして効果はあるが、目標のひとつであるスポーツリーダーの育成が進んでいるか検証が必要。	
	公平性	A		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	A		

### ① 基本事項

事業名	スキー振興事業			科目	9	項目	5	1	課名	教育委員会	
									係名	生涯学習係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略							
基本目標	ふれあいと交流ができる村づくり			子宝支援の充実							
施策	生涯学習の推進			子育て支援体制の充実							
事業の目的	村の産業と自然条件に深く関係のあるスキーを振興することにより、スキーに取り組む子供たちを育てる。			事業の目標	村内児童生徒のスキー実施者数 前年増						
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率				
○	木島平ノルディック大会(夏季)			人	687	708	103%				
○	木島平ジュニア大会(冬季3種目) ※アルペンが強風により中止			人	601	434	72%				
○	支援補助			式	1	1	100%				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

### ② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		3,755千円		3,537千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	合計		5,705千円		5,487千円
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	3,755千円	100.0%	3,537千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	3,755千円	100.0%	3,537千円

### ③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	各種スキー大会の開催により地元選手の技術向上が図られた。特にノルディック大会はH29年度より、SAJ公認大会となったことから、全日本クラスの選手も多く出場し、次世代の選手たちへの刺激となった。		
評価委員評価	公共性	A	地域スポーツの振興とジュニア選手の育成に効果が見られる。現在クロスカントリーが主流となっているが、アルペンやジャンプ競技選手を増やす施策が必要。	
	公平性	A		
	有効性	B		
	効率性	B		
総合	A			

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	57
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	人権推進事業		科目	款	項	目	課名	教育委員会
				3	1	5	係名	人権推進室
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	活力いっぱいの集落・村づくり			全項目				
施策	人権が尊重される村づくりの推進							
事業の目的	村民の人権学習を進めるとともに、差別のない明るい村づくりを推進と人権意識の高揚を図る			事業の目標	集会・学習会への参加者数 前年比 増			
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率	
○	差別をなくす村民大会(計画値は前年実績)			回	330	320	97%	
○	各種研修会への参加			回	1	5	500%	
○	人権擁護審議会の開催			回	3	3	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		2,365千円		2,001千円		
	概算正規職員人件費	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.5人	750千円	0.5人	750千円		
	概算人件費計	0.9人	3,350千円	0.9人	3,350千円		
	合計		5,715千円		5,351千円		
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	45.7%	1,080千円	54.0%	1,080千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	54.3%	1,285千円	46.0%	921千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	2,365千円	100.0%	2,001千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	差別をなくす村民大会では、例年並みの参加者を得ることが出来た。今後も村民が関心を持って参加できる講師を選定し人権意識の高揚に努める。		
評価委員評価	公共性	A	人権施策は重要な事業であり、続けることで人権意識の高揚につながる。人権教育への取り組みが衰退・後退となることを防ぐためにも継続することが必要。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	A		
	総合	A		

① 基本事項

事業名	社会人権同和教育事業			科目	9	4	1	課名	教育委員会 人権推進室
第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	活力いっぱい集落・村づくり			全項目					
施策	人権が尊重される村づくりの推進								
事業の目的	人権教育や同和教育を推進し、差別のない明るい村づくりの推進とあらゆる差別の撤廃に取り組む。			事業の目標	集会・学習会への参加者数 前年比 増				
					人権学習会開催地区数 前年比 増				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	社会人権同和教育専門指導員会の開催			回	1	1	100%		
○	分館人権学習会の開催			地区	20	15	75%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		977千円		875千円		
	概算正規職員人件費	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.5人	750千円	0.5人	750千円		
	概算人件費計	0.9人	3,350千円	0.9人	3,350千円		
	合計		4,327千円		4,225千円		
		正規職員人件費単価		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	10.2%	100千円	11.4%	100千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	89.8%	877千円	88.6%	775千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	977千円	100.0%	875千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	専門指導による正しい認識に基づいた学習会を通じて、住民の人権同和问题に対する意識の高揚に繋がった。				
評価委員評価	公共性	A				
	公平性	A				
	有効性	A				
	効率性	A				
	総合	A				

人権施策は重要な事業であり、続けることで人権意識の高揚につながる。人権教育への取り組みが衰退・後退となることを防ぐためにも継続することが必要。